

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】令和1年9月26日(2019.9.26)

【公開番号】特開2018-38009(P2018-38009A)
 【公開日】平成30年3月8日(2018.3.8)
 【年通号数】公開・登録公報2018-009
 【出願番号】特願2016-172192(P2016-172192)
 【国際特許分類】

| | | |
|---------|-------|-----------|
| H 0 4 N | 7/18 | (2006.01) |
| G 0 9 G | 5/00 | (2006.01) |
| G 0 9 G | 5/36 | (2006.01) |
| B 6 0 R | 11/04 | (2006.01) |
| H 0 4 N | 5/91 | (2006.01) |
| H 0 4 N | 5/93 | (2006.01) |
| G 1 0 L | 15/00 | (2013.01) |
| G 1 0 L | 15/10 | (2006.01) |
| G 0 6 F | 3/14 | (2006.01) |
| G 1 1 B | 27/10 | (2006.01) |

【F I】

| | | |
|---------|-------|---------|
| H 0 4 N | 7/18 | J |
| G 0 9 G | 5/00 | 5 5 0 C |
| G 0 9 G | 5/36 | 5 1 0 C |
| G 0 9 G | 5/36 | 5 3 0 Y |
| G 0 9 G | 5/00 | 5 1 0 V |
| B 6 0 R | 11/04 | |
| H 0 4 N | 5/91 | Z |
| H 0 4 N | 5/93 | Z |
| G 1 0 L | 15/00 | 2 0 0 T |
| G 1 0 L | 15/10 | 2 0 0 W |
| G 0 6 F | 3/14 | 3 6 0 C |
| G 1 1 B | 27/10 | A |
| H 0 4 N | 7/18 | U |

【手続補正書】

【提出日】令和1年8月19日(2019.8.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

搭乗者を輸送する移動体の移動中に撮影装置によって過去に撮影された前記移動体の外界の風景を、異時点映像データとして撮影日時および撮影位置とともに記憶する記憶部と

、
前記移動体の移動中に前記搭乗者による前記異時点映像データを表示する要求を受け付ける操作部と、

前記操作部が前記要求を受け付けたときの前記移動体の現在地に対応する前記異時点映像データを特定する異時点映像処理部と、

前記異時点映像処理部が特定した前記異時点映像データを表示装置へ出力する出力部とを有することを特徴とする映像出力装置。

【請求項2】

前記移動体の移動中に前記搭乗者による反応を検出する検出部を備え、

前記記憶部は、

前記移動体から撮像した現在の前記風景である映像データをさらに記憶し、

前記出力部は、

前記検出部が検出した前記反応に対応する前記映像データを前記表示装置へ出力し、前記要求を受け付けられたときは前記異時点映像データを出力すること
を特徴とする請求項1に記載の映像出力装置。

【請求項3】

前記記憶部は、

1つの前記撮影位置について、前記撮影日時が異なる複数の前記異時点映像データを記憶し、

前記操作部は、

前記撮影日時の条件の指定を含む前記要求を受け付け、

前記異時点映像処理部は、

指定された前記撮影日時に合致する前記異時点映像データを特定すること
を特徴とする請求項1または2に記載の映像出力装置。

【請求項4】

前記記憶部は、

前記異時点映像データについて、撮像時点の気象状況とともに記憶し、

前記異時点映像処理部は、

前記気象状況に基づいて前記異時点映像データを特定すること

を特徴とする請求項1、2または3に記載の映像出力装置。

【請求項5】

前記異時点映像処理部は、

現在の日時または天候が所定の条件に合致した場合、前記所定の条件に基づいて前記異時点映像データを特定し、

前記出力部は、

前記所定の条件が成立した場合に、前記要求によらず、前記異時点映像データを前記表示装置へ出力すること

を特徴とする請求項1～4のいずれか一つに記載の映像出力装置。

【請求項6】

コンピュータが

搭乗者を輸送する移動体の移動中に撮影装置によって過去に撮影された前記移動体の外界の風景を、異時点映像データとして撮影日時および撮影位置とともに記憶し、

前記移動体の移動中に前記搭乗者による前記異時点映像データを表示する要求を受け付け、

前記要求を受け付けたときに前記移動体の現在地に対応する前記異時点映像データを特定し、

特定した前記異時点映像データを表示装置へ出力する

処理を実行することを特徴とする映像出力方法。

【請求項7】

移動体の複数の搭乗者それぞれの着座位置から見える外界の風景を撮像した映像を、それぞれ異なる映像データとして記憶する記憶部と、

前記搭乗者の反応を検出する検出部と、

前記異なる映像データのうち、前記反応が検出された前記搭乗者から見える前記風景の映像データを、当該搭乗者と前記移動体の進行方向に向かって逆側の前記搭乗者に対して

出力する出力部と、
を有することを特徴とする映像出力装置。